

文楽 日高川公演

3月15日、文楽日高川公演（町観光協会主催）が川辺西小体育館で行われました。昼の部では、町内の小中学生が竹本相子大夫さんの文楽の歴史や義太夫節の説明を聴き、太夫、三味線、人形遣いなどを体験。その後「日高川入相花王」の「渡し場の段」が上演されました。夜の部では、人間国宝の吉田箕助さん、桐竹勘十郎さんらがお初と徳兵衛の恋物語「曾根崎心中」（原作近松門左衛門）を上演し、観客を魅了しました。



◀人形遣いを体験



▶「曾根崎心中」の場面

湯上 昇さんが 県農林水産業賞を受賞



▲湯上 昇さん（坂野川）

2月15日、県農林水産業功労者の表彰式が和歌山県庁で行われ、林業部門で湯上昇さんが表彰されました。

湯上昇さんは、田中津村紀州備長炭保存会では平成9年から7年余り会長を務め、また町村合併を機に発足した日高川町紀州備長炭保存会設立に大きく貢献し、新保存会の会長にも選任されました。また、平成15年より中津村製炭研

修所（現日高川町製炭研修所）の指導者として、Iターン製炭者の指導や窯だし体験等の体験型観光に尽力されています。

本町の貴重な伝統産業である紀州備長炭生産の後継者育成と体験型観光への新たな取り組み、また町内備長炭組織はもとより、平成18年4月に法人化された県木炭協会への貢献等が高く評価され、今回の受賞となりました。

ウォーキング教室

3月12日、健康づくり講演会ウォーキング教室が保健センターで開かれ、24名の方が参加しました。

メデイカル&フィットネス・アクトの宮井先生から、運動不足による疾病と傷害、ウォーキングの利点、効果的な歩き方などについて説明を聴き、ウォーミングアップのためのストレッチをした

後、土生地内約2.2kmを歩きました。

ウォーキングはストレス解消や、生活習慣病の予防などに効果的です。はじめのうちは週2〜3

回位の軽いペースから始め、慣れてきたら1日30分以上、週3〜5日を目標に、自分のペースで行うと良いそうです。そよ風が心地よい季節、始めてみませんか？



鳴滝橋上部工事開始

2月22日、まちづくり総合支援事業の一環として高津尾に建設する「鳴滝橋上部工事」の安全祈願祭が行われました。

鳴滝橋は、鳴滝第一キャンプ場から日高川の対岸を結ぶ長さ約80m、幅員2mの片側タワー状の吊り橋で、色調は周囲の景観に合わせて茶色を基調とし、橋のこう配が5%でバリアフリー化されます。供用開始は平成20年4月です。



日高川町内地区巡り

〈13〉

町内の各地区を順次紹介します

伊藤川 / 藤野川 / 三佐

いとご とうのがわ みざ



▲四ツ辻トンネル

伊藤川地区・藤野川地区 (川辺)

伊藤川地区は10世帯42人。

町道伊藤川藤野川線から石段を登ったところにある薬師堂は、もともと葦葺きでしたが昭和32年に瓦葺きに改修されました。内部には石像薬師如来と地藏菩薩像が安置されており、毎年4月には区民が集まり餅まきが行われます。また伊藤川に向かう町道の山裾には役行者像が安置されています。

藤野川地区は昭和37年4月1日に旧中津村から旧川辺町に編入され、現在8世帯30人。

東北部には老屋、佐井、船津へ通じる不動峠への登り口があり、頂上には線彫りで憤怒相を表し、峠の名の起源となった不動明王があります。また南部には大又、伊藤川、三津川へ通じる四ツ辻峠があり、平成14年11月には林道三津川藤野川線に、四ツ辻トンネルが開通し、交通の便が良くなりました。毎年4月にはお大師さんを祝う餅まきが藤野川会場前で行われ、賑わいます。



▲安楽寺

三佐地区 (中津)

三佐地区は72世帯182人。

集落の小高い場所に「安楽寺」があります。中津村誌によると、この安楽寺は室町時代に真言宗か禅宗の寺院として建立されたとありますが、宝暦2年(1752)4月の火災後に再建され、明治初期には本堂を仮校舎として三佐小学校が開校されました。寺から見下ろすと、平成17年4月統合した中津中学校で元気にクラブ活動に励む生徒の姿が見られます。

集落の下流には本川谷があり、谷に沿って林道が開設され、経平峠付近を越すと印南町へと抜けることができます。本川谷の支流である東谷を500mばかり上がると、ゴツゴツとした岩肌をしぶきを立って流れる「みだれ滝」(高さ約15m)が見えてきます。木の葉や草の緑が何とも言えない鮮やかさを見せる中を、名の通りあらこちらへとしぶきをたてて流れています。何となくすがすがしさを感じさせてくれる滝です。水量の多い夏期に一度訪れてみませんか？